

平成29年度 日本大学スポーツ科学部個人研究費 研究実績報告書

所属: スポーツ科学部 競技スポーツ学科

資格: 教授

氏名: 小山 裕三

研究課題		やり投における肘関節傷害発生要因に関する一考察 – バイオメカニクスの観点から –
報告の概要	研究目的及び研究概要	一般的にやり投選手には、肘関節傷害が多いことが報告されている(池辺ら, 2003). 野球の投球動作における全力投球や遠投は、肘内側支持機構にかかる負担が大きく、肘関節傷害が発生しやすいと報告されている(丸山ら, 2010). やり投も1投ごとに全力で遠投するため、同様に肘関節傷害が発生しやすいのではないかと考えられる. このような傷害は投動作を行うスポーツ選手の選手生命を脅かす危険性があり、その発生原因を解明することは非常に重要であると考えられる. しかし、やり投を対象とした肘関節傷害が発生する原因について、力学的観点から検討した研究はあまり見られない. これらを検討することは、やり投における肘関節傷害の力学的発生要因を明らかにし、傷害予防に対して非常に重要な基礎的知識になると考えられる. そこで本研究では、やり投選手を対象に投てき動作中の肘関節にどのような力学的力が加わることで肘関節傷害が発生するのか明らかにすることを目的とした.
	研究成果	大学陸上競技競技部に所属する男子やり投選手18名を用いて実験試技を行い、肘関節傷害の発生要因である内反トルクに関連性がある項目について検討を行った. その結果をまとめ、原著論文として学術雑誌に発表した.
研究業績	・論文および著書  著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	論文:宮内育大・岡田雅次・小山裕三・本道慎吾「やり投における肘関節内反トルクが高まる要因について」陸上競技研究112号・2018年  著書:小山裕三「日大式で差がつく!陸上競技投てき種目トレーニング～砲丸投げ・やり投げ・円盤投げ・ハンマー投げ～」メイツ出版2017年9月30日
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	なし.
	・その他 *学会・競技団体報告書など 著書名・標題・掲載誌名 発表年月・発行所 *講演会, 研究会, 研修会, セミナー等での講演発表 発表者・発表年月・題目名・講演会名 *社会貢献活動等	なし.